

## 都市イメージの分析

一 壱岐・鳥取の基礎データ

はじめに

方法

1. 調査項目について
2. 調査対象について
3. 調査手続きについて

結果と考察

加藤 義明\*

- 〔A〕2地域の被験者の諸特性
- 〔B〕都市イメージの比較
- 〔C〕住民イメージの比較
- 〔D〕都市観・地元観について

まとめ

## 要 約

本論文は長期7年計画による都市イメージ研究の一連のまとめである。この長期研究計画は、前回の長期研究計画の「大都市居住」からの発展として企画されたものである。すでに研究Ⅰ～Ⅲが発表されているが、その結果によると大都市に対して地方都市住民は、「親しみにくい、忙しい、派手な、つめたい、文化程度が高い、空気が汚い、犯罪が多い……」など地方の町とは正反対のイメージを持っている。内容的には、肯定的なものは少なく、否定的なイメージが多い。イメージに地方差、年齢差もあり、大都市より遠くなる程、大都市のイメージはよくなり、年齢的には、高校生が好イメージのピークを示している。また地方の小都市居住者のイメージはよく、中や大規模都市の居住者ほど大都市のイメージは悪い。

これらの結果は、北海道から九州までの大、中、小都市、ならびに離島の住民の調査から明らかにされたのであるが、今回は、今までの結果を裏づけること（以前と同じような条件の地域を調査すること）、調査項目をよりよいものにする（以前のものを改訂すること）を目的として企画された。

調査は、大分類で22項目（小学生）～29項目（成人）を使って行なわれた。中学生の調査用紙が本論文の最後に付録として収録されている。

調査対象は、鳥取の小、中学生とその両親、壱岐島（郷の浦）の小、中、高校生とその両親である。

得られた結果は、前回までの結果とほぼ一致している。すなわち、大都市を地元と対比

していること、その内容は、有意性のあるものが32項目中25項目におよんでいた（人がつめたい、空気が汚い、家がせまい、よい働き口がある、犯罪が多いなど）。

大都市の人に対しても前回の調査結果と同じイメージであった。すなわち、きらい、付き合いにくい、つまらない、センスがよい、つめたい、無関心な、信用できないというものであった。7項目中6項目は否定的なものであった。

このように都会は、地方人にとって否定的な所であるが、憧れの対象にもなっていて、特に憧れ感の強い高校生では71%もの生徒が憧れを感じている。

以上をまとめると、大都市とは地方人にとって否定的な場所であるが、魅力も感じさせる所であるといえよう。

今後大都市居住者の大都市観を中心に研究を進める予定である。

## はじめに

われわれは、1980年以来大都市居住者と地方中小都市居住者に関して、年齢別、性別に大都市、ならびに居住地について、どのようなイメージを持っているかを分析してきた（加藤・詫摩1980）。

調査した地区は、北から函館、白河、水戸、東京、千葉、鳥取、壱岐、名瀬、喜界町、石垣市となっている。本研究ならびに上の地区の研究は、都市イメージに関する7年計画の研究である。すでに分析を終わったり、分析中のものをふまえて、今回は壱岐、鳥取のデータの分析を行なう。本研究ではこの地区に関する基礎的データの分析を研究Ⅰ（加藤1984）にあわせた形で行ない、林の論文でやや細部にわたる分析を行なう。なお、この地区に関する研究と分析の一部は研究Ⅲ（加藤ほか、1985）に発表してあるので参照されたい。

一連の都市イメージの分析に関する研究を行なうようになった理由は、第一に環境に関する興味が高まり、大都市や自分の居住する環境に関する心理学的研究がさかんに発表されるようになったこと、第二に東京という大都市の都市研究センターの研究テーマとしてこれが適切であると思われたからである。第一点に関しては、Hall（1966）やLynch（1960）、更にMilgram（1970）、Hart（1979）らの大都市や場所認識に関する有名な研究が発表されており、わが国でも、われわれが大都市、ならびに小都市の居住の問題の分析を行なったり（加藤・詫摩1980、加藤1981、加藤・島田1980、加藤他1980～1982）、岡村・駒崎（1978、

1979）、菅野・田中ら（1981a, b）も都市に関するイメージや居住場所の差によるイメージの違いを分析している。われわれは、以前の研究で大都市から離れば離れる程イメージがよくなり、人口が少ない程、また年齢の低い程大都市のイメージはよくなるものと仮定して調査を行なったが、ほぼ仮説は検証された。

第二点に関しては、本テーマの前の7年計画のテーマが、集合住宅居住者の居留意識というもので、この時も地方差や人口差の検討を行なった。都市研究を行なうに当たって、地方人の大都市に対する態度を分析することは一つの有効な手段と考えるからである。

現在までに明らかにされている大都市イメージとして共通に認められるのは、地方居住者は大都市について文化程度が高い、こわい、人が冷たい、生活しにくい、きたない、交通が便利、立派な人が多いなどとしている。また上にも述べたように年齢差として若年時（特に高校生）には大都市へのあこがれからであろうか、大都市居住の希望が強く、成人するにつれてこの比率は低下する。更に居住地域の人口規模が大である程（大都市に近い形態になる程）大都市イメージは悪くなり、大都市から離れる程イメージはよくなっている。

大都市や地方に住んでいる人に対するイメージでは、都市住民は、都市の住民に対してセンスは悪いがあたたかいと思っており、地方住民は、センスはよいがつめたいと思っている。いなかの人についても両者は逆のイメージを持ち、都市住民は、きらい、つきあいにくい、センスが良い、つ

めたいとしているのに対して地方住民は、すき、つきあいやすい、センスが悪い、あたたかいとしている。

都市イメージの分析Ⅱ(加藤・山本1984)では、22のアンケート項目の数量化Ⅲ類による構造分析を行なった。その結果4つの軸を抽出することができた。

この4つの軸を適当に組み合わせて解釈すると、高校生は大都市に対して「生活しやすい」というイメージを抱いているのに対して、成人男性は反対に「生活しにくい」というイメージを抱いている。大都市に対する好悪イメージには年齢的な差より居住地域の特性の方が関係が強く、名瀬や喜界など遠隔小都市では、マイナスのイメージがなく、水戸や函館など、近距離ないしは中都市になるとマイナス・イメージが強くなる。都市の利便さイメージに関しては高校生は便利とし、小学生は不便なところとしている。また都市は成人男性は他の年齢群に対してより便利なところととらえている。なお、この結果の詳細は、後出の山本の「大都市イメージの構造」で改めて検討されている。

以上のような結果をふまえて、今回の研究では、地方の小都市を対象としてこれと同じような結果が得られるか、成人男性だけでなく成人女性についてもデータを取ることを目的として調査を行なった。具体的地域としては、九州の離島である壱岐、裏日本の中都市鳥取をとりあげた。本項では、先にも述べたように、研究Ⅰに対応させてこれら地域で得られたデータの基礎的分析を行なうことを目的とした。

## 方法

### 1. 調査項目について

地方在住の小、中、高校生とその父、母を被験者としてアンケート調査を行なったのであるが、その内容は、付録に収録してある(全年齢共通項目の多い中学生版)。主たる調査項目としては、「大都市」と「いま住んでいる所」について、24項目にわたるSD法的イメージのチェック、「大都市の人」と「この町の人」についてのイメージ調

査、親和欲求、生活満足度、習慣、居住地に対する愛着度、価値観に関するものおよびフェースシートで22項目(子ども)～29項目(父母)になった。なお、今回の調査と研究Ⅱの調査で用いた項目では違いがある。これは前回のものに加除訂正を行なったためである。

### 2. 調査対象について

調査対象は、鳥取県鳥取市の小学校、中学校、長崎県壱岐郡の小学校、中学校、高校の生徒、およびその父親と母親である(鳥取市の高校生のデータは回収できなかった)。全体で15のサブグループになるが、それぞれの有効サンプル数が100以上になるようにした(鳥取の小学生の父親の有効サンプル数は、結果的に100に達せず、87であった)。また父母のデータに欠損のある場合にも欠損以外のデータを用いたので親子のデータ数に違いがある。各群の有効サンプル数は表1に示す通りである。

表1：調査サンプルの数( )内は年令

	子 供	父 親	母 親
壱岐	小学生 126(小5)	109(40.7)	123(33.0)
	中学生 135(中2)	124(45.3)	137(41.1)
	高校生 149(高2)	129(47.7)	142(45.2)
鳥取	小学生 110(小5)	87(40.9)	101(37.8)
	中学生 131(中2)	106(43.3)	119(40.5)

### 3. 調査手続きについて

調査は、アンケートによったが、アンケート用紙の配布と回収は各地の学校に依頼した。両親用のアンケート用紙は、依頼状とともに生徒の持ち帰りとし、回収は各学校にまかせた。

調査期日は鳥取調査が昭和59年11月、壱岐調査が昭和59年12月であった。

## 結果と考察

### 〔A〕2 地域の被験者の諸特性

鳥取と壱岐の住民に関する特性でアンケートよ

り得られたデータは表1, 表2, 表3に示した。  
鳥取市は人口約11万人の城下町で、産業としては、農業、水産業、製材が主である。杵岐島は長崎より北々西約20kmにある離島で人口約3万人

である。昔は中国大陸との中継地として栄えたが、今日では、農業と漁業を中心とした静かな島である。

表2：父親の職業(%)

	杵岐 (小学生)	杵岐 (中学生)	杵岐 (高校生)	鳥取 (小学生)	鳥取 (中学生)	全 体
1. 農業・林業・漁業	15.0	27.0	45.2	1.3	2.9	19.9
2. 商工自営・サービス業	28.0	15.3	13.9	12.8	16.7	17.4
3. 個人営業	3.0	1.0	2.6	0.0	0.0	1.4
4. 会社・団体役員	11.0	6.1	10.4	10.3	4.9	8.5
5. 管理的職業	0.0	3.1	0.9	2.6	2.9	1.8
6. 専門・技術職	7.0	6.1	5.2	10.3	9.8	7.5
7. 上記以外の専門・技術職	7.0	9.2	3.5	15.4	10.8	8.7
8. 事務職の課長以上	3.0	4.1	2.6	3.8	6.9	4.1
9. 上記以外の事務職	10.0	7.1	6.1	10.3	7.8	8.1
10. 販売・サービス業の課長以上	1.0	1.0	1.7	5.1	4.9	2.6
11. 上記以外の販売・サービス業	2.0	4.1	1.7	10.3	7.8	4.9
12. 製造工程・現場作業	4.0	10.2	2.6	15.4	17.6	9.5
13. その他	6.0	5.1	2.6	1.3	6.9	4.5
14. 仕事は持っていない	3.0	0.0	0.9	1.3	0.0	1.0
	(N = 100)	(N = 98)	(N = 115)	(N = 78)	(N = 102)	(N = 493)

表3：鳥取地区の父親の最終学歴(%)

	鳥取 (小学生)	鳥取 (中学生)	全 体
1. 小学校	2.4	4.5	3.4
2. 新制中学(旧制高等小学校)	24.4	26.9	25.5
3. 新制高校(旧制中学, 高等女学校など)	58.5	44.8	52.3
4. 大学・短大・高専(旧制高等学校)	14.6	23.9	18.8
	(N = 82)	(N = 67)	(N = 149)

### 〔B〕都市イメージの比較

本研究では2地域の15の年齢別グループに、「大都市」と「いま住んでいる所」について32項目に

わたるイメージを5段階評定で質問した。結果は表4に示すとうりである。この表に従って15のグループの人たちの大都市イメージ、居住地イメー

ジを検討する。

表4：地区別にみた「大都市といま住んでいる所のイメージ」に関する3者間（子供・父親・母親）比較

		老岐（小学生）			老岐（中学生）			老岐（高校生）			鳥取（小学生）			鳥取（中学生）		
		子	父	親	子	父	親	子	父	親	子	父	親	子	父	親
大 都 市 の イ メ ー ジ	1. つまらない	2.32	2.66	2.70	2.28	2.83	2.83	2.21	2.70	2.62	2.83	3.09	2.69	2.30	2.92	2.71
	2. しゃれた	3.80	3.48	3.79	3.77	3.37	3.58	3.90	3.55	3.74	3.49	3.75	3.97	3.52	3.57	3.85
	3. 親しみにくい	3.61	3.59	3.74	3.64	3.79	3.83	3.64	3.93	3.84	3.69	4.05	3.94	3.43	3.64	3.54
	4. 深みのある	2.39	2.57	2.41	2.60	2.51	2.51	2.46	2.52	2.37	2.53	2.49	2.28	2.90	2.42	2.59
	5. 嫌い	2.72	3.17	3.16	2.50	2.94	3.14	2.67	3.28	3.14	3.39	3.27	3.28	2.55	3.16	3.12
	6. 明るい	4.38	3.32	3.43	3.91	2.98	3.39	3.78	3.18	3.30	3.36	3.32	3.47	4.05	3.28	3.44
	7. 忙しい	4.21	4.39	4.36	4.34	4.40	4.52	4.56	4.44	4.31	4.15	4.48	4.59	4.35	4.37	4.55
	8. 派手な	4.20	4.42	4.47	4.36	4.33	4.33	4.63	4.30	4.48	4.31	4.42	4.46	4.36	4.26	4.42
	9. つめたい	3.41	4.17	4.09	3.74	4.10	4.17	3.98	4.00	4.02	3.64	4.05	4.12	3.72	3.85	3.94
	10. 柔らかい	2.10	2.46	2.48	2.34	2.68	2.57	2.42	2.56	2.68	2.06	2.78	2.84	2.40	2.90	3.02
	11. 安定した	2.33	2.18	2.12	2.45	2.35	2.21	2.74	2.43	2.30	2.34	2.31	2.28	2.57	2.40	2.27
	12. 複雑な	3.54	3.93	4.08	4.12	3.89	4.03	4.14	4.21	4.04	3.66	4.10	4.13	4.00	3.92	4.05
	13. 広い	3.66	3.39	3.05	3.09	3.38	3.25	2.91	3.28	3.22	3.07	3.24	3.01	2.62	3.14	3.16
	14. 生活しにくい	4.00	3.61	3.38	3.84	3.35	3.33	3.32	3.56	3.31	4.03	4.00	3.73	3.48	3.63	3.41
	15. 文化の程度が低い	2.07	1.89	1.78	1.82	1.75	1.82	1.74	1.77	1.60	2.05	2.01	1.96	1.97	1.90	1.94
	16. 遊ぶところが少ない	3.42	2.15	2.03	2.86	1.92	2.16	2.21	1.86	1.93	3.49	1.84	1.98	2.89	1.83	1.75
	17. よい働き口が少ない	2.21	1.82	1.76	2.25	1.96	1.82	1.92	1.66	1.64	2.42	1.89	2.16	2.17	1.93	2.03
	18. 人間関係がわずらわしくない	2.39	2.97	3.28	2.17	3.08	3.29	2.65	3.10	3.28	2.36	2.81	2.95	2.35	3.03	2.97
	19. 安全	1.64	1.62	1.45	1.54	1.66	1.54	1.78	1.71	1.47	1.64	1.71	1.59	1.76	1.83	1.52
	20. 整然としている	1.70	1.38	1.27	1.43	1.41	1.33	1.54	1.52	1.43	1.67	1.48	1.42	1.75	1.47	1.35
	21. 人が暖かい	2.11	1.76	1.74	1.98	1.71	1.85	2.16	1.89	1.93	2.17	2.10	1.96	2.26	2.00	2.24
	22. 犯罪が少ない	1.43	1.27	1.36	1.40	1.35	1.30	1.52	1.47	1.32	1.55	1.51	1.46	1.57	1.51	1.47
	23. 公害が少ない	1.41	1.31	1.26	1.25	1.30	1.30	1.35	1.39	1.28	1.46	1.43	1.22	1.53	1.30	1.32
	24. 交通が不便	2.59	1.69	1.43	2.58	1.65	1.46	1.43	1.48	1.34	3.06	1.43	1.36	2.15	1.45	1.40
	25. 買ひ物が不便	2.11	1.44	1.45	1.72	1.57	1.50	1.34	1.43	1.47	2.42	1.59	1.57	1.90	1.58	1.54
	26. 街並が汚い	2.90	2.44	2.53	2.81	2.42	2.46	2.48	2.34	2.49	3.29	2.95	2.70	2.69	2.79	2.67
	27. 空気が汚い	4.37	4.42	4.52	4.55	4.50	4.37	4.35	4.45	4.58	4.54	4.61	4.63	4.47	4.49	4.61
	28. 家幅広い	3.06	1.86	1.73	2.13	1.86	1.83	1.89	1.88	1.65	2.43	1.71	1.85	2.38	1.69	1.79
	29. 孤独な人が少ない	2.62	1.95	1.67	2.21	1.88	1.84	2.25	2.02	1.93	2.29	2.19	1.98	2.55	2.08	1.95
	30. 自然が美しくない	4.37	4.19	4.19	4.36	4.10	4.12	4.12	4.15	4.10	4.47	4.15	4.13	4.12	4.13	4.09
	31. 気候が厳しい	3.66	3.35	3.31	3.33	3.48	3.32	3.15	3.31	3.38	3.16	2.69	2.55	2.78	2.42	2.57
	32. 食べものがまずい	2.99	2.83	2.71	3.13	2.76	2.73	3.04	2.78	2.87	3.48	3.11	2.96	3.06	3.01	2.81
い ま 住 ん で い る 所 の イ メ ー ジ	1. つまらない	1.68	2.20	2.23	2.31	2.40	2.47	2.86	2.50	2.60	1.58	2.50	2.65	2.63	2.69	2.65
	2. しゃれた	2.72	2.51	2.71	2.70	2.80	2.75	2.33	2.70	2.60	2.86	2.62	2.59	2.59	2.61	2.60
	3. 親しみにくい	1.51	1.82	1.77	1.66	1.88	1.78	1.87	1.74	1.81	1.59	1.99	2.04	2.00	2.18	2.33
	4. 深みのある	3.83	3.49	3.72	3.58	3.52	3.58	3.61	3.72	3.63	3.69	3.54	3.53	3.30	3.29	3.43
	5. 嫌い	1.52	1.96	1.89	1.98	2.16	2.06	2.38	1.94	2.00	1.42	2.12	2.12	2.36	2.14	2.19
	6. 明るい	4.14	3.66	3.88	3.72	3.48	3.84	3.19	3.67	3.75	4.00	3.05	3.13	2.89	3.09	3.02
	7. 忙しい	1.97	1.94	1.85	2.09	2.04	1.95	1.86	2.18	2.22	2.15	2.04	1.94	1.91	2.18	2.07
	8. 派手な	2.65	2.20	2.05	2.43	2.22	2.26	2.10	2.06	2.12	2.69	2.09	2.26	2.25	2.23	2.19
	9. つめたい	1.57	1.88	1.87	1.88	1.87	1.95	1.86	1.87	1.81	1.85	2.24	2.18	2.15	2.29	2.24
	10. 柔らかい	4.20	3.30	3.36	3.80	3.27	3.36	3.57	3.61	3.31	3.98	3.14	2.98	3.63	3.00	2.92
	11. 安定した	4.06	3.45	3.61	3.70	3.57	3.59	3.36	3.47	3.50	3.97	3.48	3.47	3.58	3.30	3.63
	12. 複雑な	2.19	2.47	2.56	2.28	2.32	2.52	2.40	2.20	2.51	2.53	2.58	2.52	2.40	2.54	2.67
	13. 広い	2.79	2.68	2.84	2.96	2.79	2.77	3.01	2.70	2.80	3.31	2.87	2.71	3.07	2.81	2.57
	14. 生活しにくい	1.44	2.45	2.30	1.92	2.24	2.22	2.39	2.55	2.25	1.38	2.30	2.22	2.13	2.48	2.36
	15. 文化の程度が低い	3.28	3.55	3.20	3.49	3.45	3.46	3.52	3.65	3.59	3.10	3.38	3.46	3.53	3.33	3.40
	16. 遊ぶところが少ない	2.10	3.48	3.56	2.77	3.84	3.60	3.51	3.67	3.83	2.05	3.74	3.91	3.08	3.58	3.83
	17. よい働き口が少ない	3.23	4.42	4.39	3.97	4.35	4.54	4.21	4.39	4.52	2.81	4.06	4.12	3.49	4.16	4.13
	18. 人間関係がわずらわしくない	3.79	3.07	2.77	3.50	2.88	2.61	3.14	3.13	2.74	3.93	2.77	2.76	3.51	2.90	2.81
	19. 安全	4.48	4.06	4.13	4.37	4.23	4.20	3.99	4.24	4.28	4.27	3.61	3.62	3.82	3.70	3.77
	20. 整然としている	4.25	3.94	4.03	4.37	4.05	4.31	4.08	4.07	4.22	4.06	3.54	3.68	3.73	3.69	3.75
	21. 人が暖かい	4.34	4.05	4.04	4.17	4.20	4.12	3.85	4.12	4.25	4.23	3.47	3.71	3.72	3.70	3.56
	22. 犯罪が少ない	4.56	4.48	4.37	4.46	4.45	4.49	4.29	4.39	4.45	4.38	4.02	3.93	4.06	4.00	4.05
	23. 公害が少ない	4.70	4.52	4.63	4.65	4.50	4.59	4.50	4.55	4.54	4.23	4.17	4.21	4.19	4.19	4.26
	24. 交通が不便	2.78	3.59	3.87	3.12	3.62	3.87	4.19	3.92	3.88	2.58	3.97	3.51	3.30	3.65	3.68
	25. 買ひ物が不便	2.63	3.45	3.19	3.38	3.37	3.30	4.04	3.62	3.71	2.28	3.02	2.87	3.02	2.95	3.11
	26. 街並が汚い	2.02	2.90	2.56	2.56	3.02	2.82	2.83	3.00	2.77	2.01	2.70	2.72	2.82	2.80	2.85
	27. 空気が汚い	1.24	1.47	1.26	1.32	1.29	1.41	1.54	1.36	1.42	1.48	1.42	1.52	1.80	1.52	1.58
	28. 家幅広い	3.36	3.61	3.63	3.74	3.87	3.79	3.81	3.96	3.99	3.71	3.34	3.32	3.39	3.37	3.32
	29. 孤独な人が少ない	3.75	3.64	3.92	3.75	3.90	3.79	3.55	3.73	3.88	3.76	3.28	3.42	3.28	3.26	3.29
	30. 自然が美しくない	1.30	1.45	1.38	1.37	1.33	1.46	1.47	1.59	1.41	1.45	1.57	1.68	1.92	1.73	1.60
	31. 気候が厳しい	1.51	1.84	1.81	1.77	1.68	1.74	1.94	1.81	1.69	2.35	3.24	3.24	2.92	3.28	3.36
	32. 食べものがまずい	1.52	1.86	1.75	1.73	1.77	1.79	1.87	1.88	1.68	1.40	1.99	1.92	2.23	1.99	2.08

注：数字は各項目の平均値で、得点が高いほど項目に関するイメージが強いことを意味する。

## (1) 彦岐のデータの分析

## (a) 彦岐の小学生の「大都市」についてのイメージ

「大都市」について彦岐の小学生が抱いているイメージで特に強いものをとり出すと次のとおりである（5段階評定で3.5以上、2.5以下の項目。いずれも1%以下の危険率で偏りを示す）。

楽しい しゃれた 親しみにくい 深みがない 明るい 忙しい 派手な 柔らかくない 安定していない 複雑な 広い 生活しにくい 文化程度が高い よい働き口が多い 人間関係がわずらわしい 安全でない 整然としていない 人が暖たかくない 犯罪が多い 公害が多い 買い物が便利 空気が汚い 自然が美しくない 気候が厳しい

小学生の「大都市イメージ」は32項目中24項目にわたってかたよりがみられた。これらのイメージ内容は研究Ⅰにおける喜界町、水戸市、函館市の小学生のデータとかなり類似している。

## (b) 彦岐の小学生の「いま住んでいる所」についてのイメージ（5段階評定の3.5以上2.5以下の項目）

楽しい 親しみやすい 深みがある 好き 明るい 忙しくない つめたくない 柔らかい 安定している 複雑でない 生活しやすい 文化程度が低い 遊ぶところが多い 人間関係がわずらわしくない 安全である 整然としている 人が暖かい 犯罪が少ない 公害が少ない 空気がきれい 家が広い 孤独な人が少ない 自然が美しい 気候がおだやか 食べ物がまずい

小学生の「いま住んでいる所」のイメージは32項目中26項目でかたよりがみられ、このうち16の項目では大都市のイメージと逆になっている。なお「楽しい」と「明るい」とい

うイメージは、大都市と地元の両者に共通してもたれている。

## (c) 彦岐の中学生の「大都市」についてのイメージ（5段階評定の3.5以上、2.5以下の項目）

楽しい しゃれた 親しみにくい 明るい 忙しい 派手な つめたい 柔らかくない 安定していない 複雑である 生活しにくい 文化程度が高い よい働き口が多い 人間関係がわずらわしい 安全でない 整然としていない 人がつめたい 犯罪が多い 公害が多い 買い物が便利 空気が汚い 家がせまい 孤独な人が多い 自然が美しくない

中学生の「大都市」についてのイメージは32項目中24項目にかたよりがみられた。中学生の抱くイメージは、小学生のものとかかなり類似しており、また研究上における3地域の中学生のイメージとも類似している。

## (d) 彦岐の中学生の「いま住んでいる所」についてのイメージ（5段階評定の3.5以上、2.5以下の項目）

楽しい 親しみやすい 深みがある 好き 明るい 忙しくない 派手でない 暖かい 柔らかい 安定している 複雑でない 生活しやすい よい働き口が少ない 安全である 整然としている 人が暖い 犯罪が少ない 公害が少ない 空気がきれい 家が広い 孤独な人が少ない 自然が美しい 気候が厳しくない 食べ物がおいしい

中学生の「いま住んでいる所」のイメージは32項目中24項目でかたよりがみられ、このうち18の項目で大都市と逆のイメージをもっている。なお、「楽しい」と「明るい」は両所に共通して認められた。

中学生のイメージは今回、および前回の小学生、中学生の傾向とはほぼ一致しており、大都市、いま住んでいる所に共通して認められ

た二つのイメージも小学生の場合と同じであった。

(e) 宍岐の高校生の「大都市」についてのイメージ（5段階評定の3.5以上、2.5以下の項目）

楽しい しゃれた 親しみにくい 深みのない 明るい 忙しい 派手な つめたい 柔らかくない 複雑である 文化程度が高い よい働き口が多い 安全でない 整然としていない 人がつめたい 犯罪が多い 公害が多い 交通が便利 買い物が便利 街並がきれい 空気が汚い 家がせまい 孤独な人が多い 自然が美しくない

(f) 宍岐の高校生の「いま住んでいる所」についてのイメージ（5段階評定の3.5以上、2.5以下の項目）

しゃれてない 親しみやすい 深みのある 好き 忙しくない 派手でない つめたくない 柔らかい 複雑でない 文化程度が低い 遊ぶところが少ない よい働き口が少ない 安全 整然としている 人が暖い 犯罪が少ない 公害が少ない 交通が不便 買い物が不便 空気がきれい 家が広い 孤独な人が少ない 自然が美しい 気候がよい 食べ物おいしい

高校生の「いま住んでいる所」のイメージは32項目中27項目でかたよりが認められ、そのうち21項目で大都市イメージと逆の傾向を示している（6項目については逆の傾向が認められなかったわけではなく大都市イメージでかたよりが認められなかったものである）。なお、高校生にあっては、大都市といま住んでいる所に共通のイメージはなかった。

(g) 宍岐の成人男女性の「大都市」についてのイメージ

表4の父親と母親の各イメージの得点を比較してみると、小、中、高校を通じて一目で明

らかなように両者はほとんど同じ数値を示している（有意の差のあるものは一つもない）。それで、ここでは両者をまとめて成人群として一括して傾向をみる。

（5段階評定の3.5以上、2.5以下の項目）  
しゃれた 親しみにくい 忙しい 派手な つめたい 安定してない 複雑である 文化程度が高い 遊ぶところが多い よい働き口が多い 安全でない 整然としていない 人がつめたい 犯罪が多い 公害が多い 交通が便利 買い物が便利 空気が汚い 家がせまい 孤独な人が多い 自然が美しくない

成人の「大都市」についてのイメージは32項目中22項目にかたよりがみられる。

(2) 鳥取のデータの分析

(a) 鳥取の小学生の「大都市」についてのイメージ（5段階評定の3.5以上、2.5以下の項目）

親しみにくい 忙しい 派手な つめたい 柔らかくない 安定していない 複雑な 生活しにくい 文化程度が高い 遊ぶところが少ない よい働き口が多い 人間関係がわずらわしい 安全でない 整然としていない 人がつめたい 犯罪が多い 公害が多い 買い物が便利 空気が汚い 家がせまい 孤独な人が多い 自然が美しくない

(b) 鳥取の小学生の「いま住んでいる所」についてのイメージ（5段階評定の3.5以上、2.5以下の項目）

楽しい 親しみやすい 深みのある 好き 明るい 忙しくない 暖い 柔らかい 安定した 生活しやすい 遊ぶところが多い 人間関係がわずらわしくない 安全 整然としている 人が暖い 犯罪が少ない 公害が少ない 買い物が便利 街並がきれい 空気がきれい 家が広い 孤独な人が少ない 自然が美しい 気候がよい 食べ物がうまい

鳥取の小学生の大都市、およびいま住んでいる所についてのイメージは、17項目で逆の内容になっており、「買い物が便利」において両者に共通している。

(c) 鳥取の中学生の「大都市」についてのイメージ（5段階評定の3.5以上、2.5以下の項目）

親しみやすい 好き 忙しくない 派手でない 暖い 柔らかい 安定した 複雑でない 生活しやすい 文化程度が低い 人間関係がわずらわしくない 安全 整然としている 人が暖い 犯罪が少ない 公害が少ない 空気がきれい 自然が美しい 食べ物がおいしい

鳥取の中学生の「大都市」「いま住んでいる所」のイメージは、壱岐の中学生のパターンとかなり類似し、大都市と、いま住んでいる所に関して逆のイメージは14項目で認められた。

(d) 鳥取の成人男女性の「大都市」についてのイメージ（5段階評定の3.5以上、2.5以下の項目）

しゃれた 親しみにくい 深みのない 忙しい 派手な つめたい 安定していない 複雑な 生活しにくい 文化程度が高い 遊ぶ所が多い よい働き口が多い 安全でない 整然としてない 人がつめたい 犯罪が多い 公害が多い 交通が便利 買い物が便利 空気が汚い 家が狭い 孤独な人が多い 自然が美しくない

(e) 鳥取の成人男女性の「いま住んでいる所」についてのイメージ（5段階評定の3.5以上、2.5以下の項目）

親しみやすい 好き 忙しくない 派手でない 暖かい 生活しやすい 遊ぶ所が少ない よい働き口が少ない 安全 整然としている 人が暖かい 犯罪が少ない 公害が少ない 交通が便利 空気がきれい 自然が美しい

食べ物がうまい

鳥取の成人にあっては、大都市といま住んでいる所のイメージを逆のものとしてとらえている項目は15であった。

以上の結果を総合してみると、大都市のイメージとして子どもから大人まで共通して認められるものは、「犯罪が多い」「公害が多い」「ごみごみしている」「危険（安全でない）」「空気が汚い」「自然が美しくない」「生活しにくい」など否定的なものと、「派手」「明るい」「忙しい」の肯定的なものに分けられる。肯定項目の得点は大人より子どもの方が有意に高く、また、子どもの中では学齢が上がるに従って得点が高くなっている。

いま住んでいる所についてのイメージは子どもから大人まで全体的に肯定的なものが多い。「空気がきれい」「自然が美しい」「気候がよい」「公害が少ない」など自然にかかわる部分でも、また、「犯罪が少ない」「安全」「生活しやすい」「人が暖かい」「親しみやすい」「好き」などの人にかかわる項目でも都市のイメージを上まわっている。ただし、後にみるように、子どもの方が大人より都会に憧れを感じるためであろうか、大人よりは都会に好意的で、いま住んでいる所を否定的に見ている。この傾向は子どものうち、高学年になるに従って強くなっている。

なお、ここで得られた結果は、研究Ⅰ、Ⅱで調査を行なった喜界、水戸、函館のうち喜界の結果に非常に類似している。

### 〔C〕住民イメージの比較

今回の研究では、従来のものと同じように「大都市の人」「この町の人」についてのイメージを調査している。調査内容が以前のものとやや異なり今回は以前の項目に「無関心」「信用できない」の2項目を加えて7項目とした。小、中、高校生およびその両親（父親と母親の評価に有意差のあるものがなかったので図1～図7では両者をまとめて成人データとした）の調査結果は、表5と図1～図7に示した。



表5：地区別にみた「大都市の人とこの町の人のイメージ」に関する3者間（子供・父親・母親）比較

	壱岐（小学生）			壱岐（中学生）			壱岐（高校生）			鳥取（小学生）			鳥取（中学生）		
	子供	父親	母親	子供	父親	母親	子供	父親	母親	子供	父親	母親	子供	父親	母親
嫌いだ	3.24	3.20	3.13	3.08	3.08	3.12	2.94	3.04	3.04	3.33	3.14	3.04	2.93	3.01	3.04
付き合いにくい	3.62	3.47	3.47	3.40	3.36	3.29	3.09	3.32	3.23	3.71	3.24	3.31	3.02	3.06	3.01
つまらない	3.40	3.22	3.11	3.18	2.95	2.99	2.95	2.94	3.01	3.49	3.07	2.96	2.94	3.15	3.00
センスの悪い	2.39	2.27	2.09	1.95	2.33	2.06	2.09	2.38	1.88	2.86	2.48	2.23	2.20	2.45	2.22
つめたい	3.64	3.71	3.69	3.69	3.69	3.65	3.35	3.57	3.48	3.84	3.56	3.51	3.28	3.52	3.26
無関心	3.07	3.89	4.04	3.55	4.09	4.11	3.58	3.87	3.90	2.96	3.65	3.85	3.48	3.61	3.65
信用できない	3.90	3.83	3.92	3.81	3.86	3.89	3.52	3.71	3.82	3.64	3.53	3.66	3.44	3.53	3.53
嫌いだ	1.56	2.31	2.33	2.05	2.42	2.38	2.37	2.23	2.26	1.72	2.51	2.64	2.43	2.59	2.65
付き合いにくい	1.64	2.15	2.24	1.94	2.19	2.31	2.29	2.08	2.27	1.73	2.47	2.50	2.40	2.66	2.77
つまらない	1.99	2.70	2.62	2.50	2.82	2.75	2.65	2.49	2.72	2.04	2.82	3.00	2.79	2.87	3.10
センスの悪い	2.71	3.26	3.14	2.90	3.22	3.18	3.23	3.28	3.17	2.36	3.25	3.17	3.23	3.32	3.29
つめたい	1.62	2.15	2.01	1.96	2.09	2.02	2.23	1.95	1.95	1.75	2.40	2.38	2.29	2.41	2.60
無関心	2.81	2.29	2.21	2.58	2.22	2.03	2.48	2.23	2.07	2.68	2.64	2.43	2.78	2.72	2.76
信用できない	1.78	2.41	2.38	2.26	2.39	2.45	2.47	2.25	2.30	1.98	2.65	2.63	2.56	2.66	2.81

注：数字は各項目の平均値で、得点が高いほど項目に関するイメージが強いことを意味する。

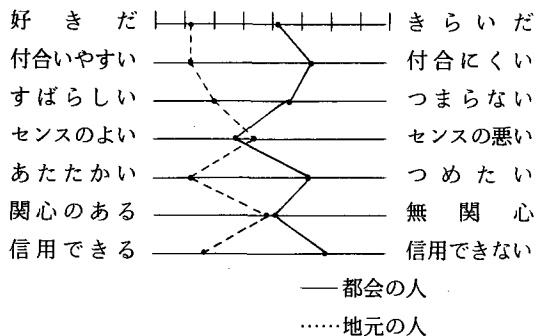


図1 壱岐の小学生の住民イメージ

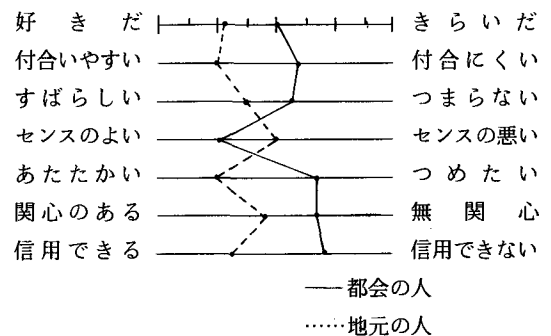


図2 壱岐の中学生の住民イメージ

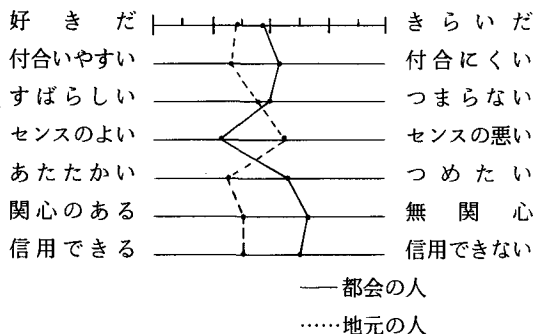


図3 壱岐の高校生の住民イメージ

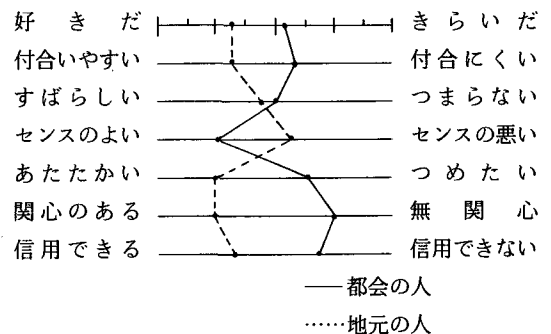


図4 壱岐の成人の住民イメージ

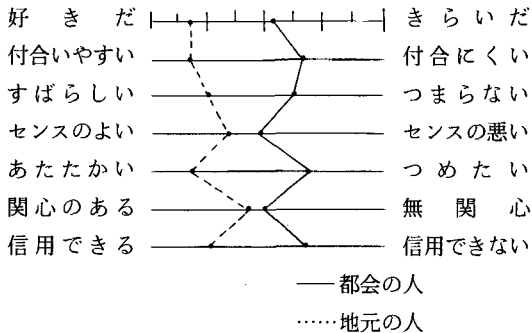


図5 鳥取の小学生の住民イメージ

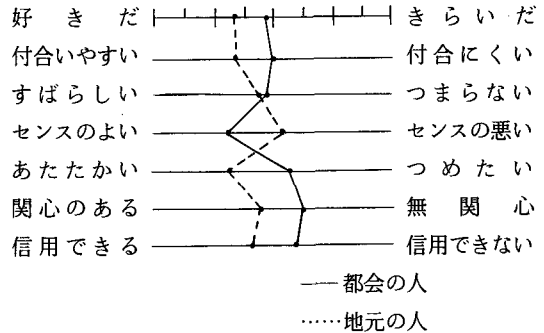


図6 鳥取の中学生の住民イメージ

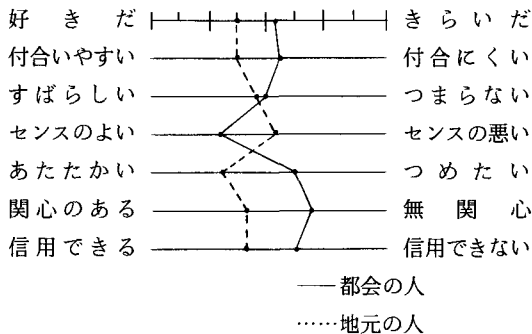


図7 鳥取の成人の住民イメージ

これらの表と図をみると各地の住民が大都市と地元の人をかなり対比的に見ていることがわかる。すなわち、大都市の人に対しては、きれい、付き合いにくい、つまらない、センスのよい、無関心な、信用できないとしている（年齢、性別を問わず同傾向であるため全体として集計すると1%以下の危険率で有意差を示す）。無関心と信用できないの二項目を除いて他は前回の調査結果と一致している。従って、所をとわず、地方在住者は、大都市の居住者を否定的に見ているといえよう。ただしセンスがよいについては逆の傾向を示している。この点も以前の研究と全く同じである。

#### (D) 都市観、地方観について

大都市といま住んでいる所について6つの観点から質問した結果が表6である。

##### (a) 仕事をする場所としての大都市と地元

表6によれば成人は男女をとわず地元を選ん

でいる。また小学生も地元を選んでいる。それに対して中学生、高校生は大都市を選択している（鳥取の中学生は有意差なし）。この傾向は、以前の研究にもみられ、特に都会に憧れを強く感じる高校生で高率となっている。成人は実際の生活基盤が地元にあるために地元選択が多いのであろうが、女性にあっては男性よりも5%~15%低率となっている（有意差あり）。

##### (b) 居住地としての大都会と地元

居住地として大都市を比較的好むのは高校生であるが、それでも22.5%である。成人と小学生では地元がよいとする者が70%を越えている。この傾向は、前回の喜界、水戸、函館の場合と全く同じである。

##### (c) 大都市に住んでみたいか

憧れとしての大都市居住を質問したのが、表6のQ4である。大都市に住んでみたいと答えたのは、高校生がトップ（88.6%）で成人と小学生が最低となっている（26%~62.4%）。住む場所として一番高率で大都市を指名した高校生が、一度は大都市に住んでみたいというのは当然であろう。

##### (d) 地元は住みやすい所か

地元を単独で住みやすいかどうかをきいたのが、Q5である。61.5%~87.3%の被験者が住みやすいと答えており、積極的に地元が住みにくいとしているのは、最高でも鳥取の小学

表6：「大都市と住んでいる場所」に対する意見(%)

		壱岐（小学生）			壱岐（中学生）			壱岐（高校生）			鳥取（小学生）			鳥取（中学生）		
		子供	父親	母親	子供	父親	母親	子供	父親	母親	子供	父親	母親	子供	父親	母親
Q2. 仕事をする場所として	1. 大都市	31.2	35.5	34.7	35.8	31.8	35.2	58.4	28.9	29.6	15.5	24.4	21.8	32.6	26.4	28.6
	2. ここ	39.2	44.9	39.7	23.9	46.7	37.6	10.1	53.9	38.5	46.4	60.5	47.5	27.9	56.6	43.7
	3. わからない	29.6	19.6	25.6	40.3	21.5	27.2	31.5	17.2	31.9	38.2	15.1	30.7	39.5	17.0	27.7
Q3. 住む場所として	1. 大都市	16.8	5.6	9.9	20.1	8.4	11.2	25.5	5.5	9.6	7.3	12	5.0	15.5	5.7	2.5
	2. ここ	71.2	80.4	77.7	53.7	82.2	74.4	34.2	88.3	84.4	72.7	87.2	80.2	52.7	81.1	79.0
	3. わからない	12.0	14.0	12.4	26.1	9.3	14.4	40.3	6.3	5.9	20.0	11.6	14.9	31.8	13.2	18.5
Q4. 大都市に住んでみたいか	1. はい	62.4	42.1	48.8	76.9	45.8	46.4	88.6	39.4	47.8	40.9	40.5	38.6	66.9	26.4	41.2
	2. いいえ	24.8	47.7	43.8	14.2	42.1	40.0	3.4	52.8	38.1	38.2	54.8	54.5	13.1	62.3	49.6
	3. わからない	12.8	10.3	7.4	9.0	12.1	13.6	8.1	7.9	14.2	20.9	4.8	6.9	20.0	11.3	9.2
Q5. ここは住みよい所か	1. はい	87.2	80.2	77.5	75.4	79.4	81.5	65.1	77.3	78.5	87.3	68.6	76.2	61.5	77.4	77.3
	2. いいえ	5.6	8.5	11.7	7.5	10.3	8.9	9.6	10.9	14.1	4.5	15.1	9.9	6.9	12.3	12.6
	3. わからない	7.2	11.3	10.8	17.2	10.3	9.7	25.5	11.7	7.4	8.2	16.3	13.9	31.5	10.4	10.1
Q6. 大都市に憧れを感じるか	1. とても	11.2	4.7	0.8	10.4	0.9	3.3	20.1	3.1	2.2	9.1	3.5	3.0	12.4	0.0	2.6
	2. ある程度	40.0	19.6	36.4	47.8	27.4	28.1	31.0	21.3	32.1	22.7	16.3	21.8	46.5	21.8	27.8
	3. あまり	40.0	51.4	43.0	37.3	47.2	46.3	25.5	44.1	46.3	40.9	51.2	45.5	37.2	49.5	50.4
	4. ぜんぜん	8.8	24.3	19.8	4.5	24.5	22.3	3.4	31.5	19.4	27.3	29.1	29.7	3.9	28.7	19.1

注：数字は各カテゴリーに反応した者のパーセントを表している。

生の父親の15.1%であった。このことは大都市に対する憧れとは別に現在の居住地に愛着をもっていることを示すものと考えられる。

#### (e) 大都市に憧れを感じるか

大都市に憧れを感じるか、またその程度はどの位かを調べたのがQ6である。結果は、ある程度以上感じる者をまとめると、高校生（71.1%）、中学生（58.6%）、小学生（55.1%）、成人女子（33.6%）、成人男子（23.7%）の順となっている。子どもの比率は高く、成人、なかでも男性の比率は低くなっている。

(a)~(e)の全体を通じていえることは、精神的にも自立する高校生にあって、大都市への志向が強まり、生活基盤を地元においている成人にあっては地元志向が強いことが明らかになった。この傾向は、以前の調査でも明らかにされているところであるから地方都市の場合、所を問わず高校生時代に大都市志向の傾向が強まり、成人とこれに依存して生活している小学生時代は地元志向が強いという一般傾向を指摘できる。

## ま と め

1. 以前の研究（Ⅰ～Ⅲ）に続いて日本の地方都市二地域ではほぼ以前と同じ大都市、および地元のイメージについて意識調査を行なった。
2. 大都市に、年齢にかかわらず認められたイメージは、「親しみにくい 忙しい 派手な つめたい 安定してない 文化程度が高い よい働き口がある 安全でない 人がつめたい 犯罪が多い 公害が多い 交通が便利 買い物が便利 空気が汚い 家がせまい 孤独な人が多い 自然が美しくない」であった。
3. 地方住民の地元観は、大都市の逆のイメージであった。従って大都市にはかなり否定的なイメージ、地元には肯定的なイメージを持っている。
4. 上のような大都市観、地元観を持つにもかかわらず高校生を中心に大都市に憧れを感じている。
5. 大都市の人、地元の人に対しては、年齢を問わず、「大都市の人」：きらいだ 付合にくい つまらない センスがよい つめたい 無関心 信用できない というイメージであった。センスのよいを除いて総て否定的な評価となっている。なお地元の人については大都市の人の逆のイメージであった（ほとんどの場合1%以下の危険率で有意差あり）。
6. 以上で得られた結果は、以前の研究で得られた結果とほぼ一致している。
7. 今回で主として地方在住者の調査を終ったのであるが、抱くイメージについて地方によって、大都市からの遠近、年齢、人口などにより多少の差は認められるものの、共通したイメージも多いことが明らかとなった（共通イメージは、上記2.にまとめてある）。
8. 今後の研究としては、大都市居住者についての調査を予定している。

## 文 献

- 1) Hall, E. T. 1966 *The Hidden Dimension* New York : Doubleday.
- 2) Hart, R. 1979 *Children's Experience of Place* New York : Irvington Publistrers.
- 3) 林 洋一 1986 都市イメージに関連する要因の分析 総合都市研究 27 27-34
- 4) 菅野幸宏・加藤孝義・田中潜次郎 1981 a 東北の都市のイメージその1 日本心理学会第45回大会発表論文集 725
- 5) 菅野幸宏・加藤孝義・田中潜次郎 1981 b 東北の都市のイメージその2 日本心理学会第45回大会発表論文集 726
- 6) 加藤義明 1981 集合住宅居住者の心理特性 総合都市研究 12 49-116
- 7) 加藤義明 1984 都市イメージの分析(1) 人文学報 No.168 75-120
- 8) 加藤義明・林 洋一・詫摩武俊・山本真理子 1985 都市イメージの分析Ⅲ 日本教育心理学会第27回大会発表論文集
- 9) 加藤義明・島田一男 1980 奄美島民の生活態度に関する一研究 人類科学 第32集 奄美その4 87-122
- 10) 加藤義明・詫摩武俊 1980 アパート(集合住宅)と一戸建居住者の居留意識に関する予備的研究 総合都市研究 9 139-187
- 11) 加藤義明・山本真理子 1984 都市イメージの分析Ⅱ 日本教育心理学会第26回大会発表論文集 506-509
- 12) 加藤義明 他 1980-1982 集合住宅住民の心理特性に関する研究 I-X 日本教育心理学会発表論文集
- 13) Lynch, K. 1960 *The Image of the city.* Cambridge, Mass. : MIT Press.
- 14) Milgram, S. 1970 *The Experience of Living in Cities.* Science, 167 1461-1468
- 15) 岡村一成・駒崎 勉 1979 生活環境のイメージに関する調査研究 日本教育心理学会第21回大会発表論文集 590-591
- 16) 岡村一成・駒崎 勉 1978 ベットタウンの居住条件と住民の生活意識に関する調査研究(その2) 日本心理学会第42回大会発表論文集 1278

**Key Words** (キー・ワード)

**Image** (印象), **Tottori** (鳥取), **Iki** (壱岐), **Environment** (環境), **Large City** (大都市)

1	2	3	4	5	6	1	

## 生活意識と都市イメージに関する調査

—中学生用—

《お願い》

私たちは、生活意識や都市イメージに関するアンケート調査を全国各地で、実施いたしております。お忙しいところ大変恐縮ですが、調査にご協力をお願いいたします。

この調査は、ひとりひとりの方がどのように答えたかをみるものではなく、あくまでも全体的傾向をみるものです。結果は“〇〇と答えた人が××多いた”というようにまとめられます。無記名で回答してもらいますので、あなたのお名前が外部に知れることは絶対にありませんので、どうぞお気軽にお答え下さい。

この調査票の責任者

東京都立大学人文学部心理学研究室

教授 詫摩 武俊

助教授 加藤 義明

<回答の仕方についてのお願い>

1. この調査票は、あなたが自分で記入して下さい。
2. Q1から質問順に答えて下さい。又、回答に当っては一問ごとに質問文と項目をよく読んでからお答え下さい。
3. あなたの行動や考え方を、ありのまま素直にお答え下さい。ほかの人の考えを、気にすることはありません。
4. 質問によっては、「あんなこともあるし、こんなこともあるし…」と迷うと、答えられなくなるものもあります。回答は、質問と回答項目を読んで、すぐ直感的にそうだと思うことや、あてはまると思うところに○をつけて下さい。
5. どうしても答えたくない質問には答えなくても結構です。
6. 右はしの数字はコンピュータに入力するためのものです。質問には関係ありません。
7. 一通り回答し終わったら、記入モレや、書き忘れがないか、もう一度最初のページから見直して下さい。

《東京や大阪のような大都市と今あなたが住んでいる所について、おたずねします。》

Q 1. あなたは東京や大阪のような大都市は、どんな所だと思いますか。以下に、反対の意味を持った言葉が、何組か示してありますので、その一つ一つについて、大都市と自分の住んでいる所が、どこにあてはまるかを答えて下さい。例にならって、あてはまるところに○印をつけて下さい。

	「大都市」		「いま住んでいる所」				
	ど ち ら と も い え な い						
	非 常 に	や や	や や	非 常 に			
《例》	大 き い	<input checked="" type="radio"/>	小 さ い	大 き い	<input type="radio"/>	小 さ い	
1.	楽 し い		つま ら な い	楽 し い		つま ら な い	7 39
2.	や ぼ っ た い		しゃ れ た	や ぼ っ た い		しゃ れ た	8 40
3.	親 し み や す い		親 し み に く い	親 し み や す い		親 し み に く い	9 41
4.	う す っ ぺ ら な		深 み の あ る	う す っ ぺ ら な		深 み の あ る	10 42
5.	好 き		嫌 い	好 き		嫌 い	11 43
6.	暗 い		明 る い	暗 い		明 る い	12 44
7.	の ん び り し た		忙 し い	の ん び り し た		忙 し い	13 45
8.	地 味 な		派 手 な	地 味 な		派 手 な	14 46
9.	あ た た か い		つ め た い	あ た た か い		つ め た い	15 47
10.	固 い		柔 ら か い	固 い		柔 ら か い	16 48
11.	不 安 定 な		安 定 し た	不 安 定 な		安 定 し た	17 49
12.	単 純 な		複 雑 な	単 純 な		複 雑 な	18 50
13.	狭 い		広 い	狭 い		広 い	19 51
14.	生 活 し や す い		生 活 し に く い	生 活 し や す い		生 活 し に く い	20 52
15.	文 化 の 程 度 が 高 い		文 化 の 程 度 が 低 い	文 化 の 程 度 が 高 い		文 化 の 程 度 が 低 い	21 53

「大都市」

「いま住んでいる所」

ど  
ち  
ら  
と  
も  
い  
え  
な  
い

非常に や や 非常に  
や や や

ど  
ち  
ら  
と  
も  
い  
え  
な  
い

非常に や や 非常に  
や や や

16. 遊ぶ所が多い		遊ぶ所が 少ない	遊ぶ所が多い		遊ぶ所が 少ない	22	54
17. よい働き口 が多い		よい働き口 が少ない	よい働き口 が多い		よい働き口 が少ない	23	55
18. 人間関係が わずらわしい		人間関係が わずらわしくない	人間関係が わずらわしい		人間関係が わずらわしくない	24	56
19. 危 険		安 全	危 険		安 全	25	57
20. ごみごみして いる		整然として いる	ごみごみして いる		整然として いる	26	58
21. 人が冷たい		人が暖かい	人が冷たい		人が暖かい	27	59
22. 犯罪が多い		犯罪が少ない	犯罪が多い		犯罪が少ない	28	60
23. 公害が多い		公害が少ない	公害が多い		公害が少ない	29	61
24. 交通が便利		交通が不便	交通が便利		交通が不便	30	62
25. 買い物が便利		買い物が不便	買い物が便利		買い物が不便	31	63
26. 街並がきれい		街並が汚い	街並がきれい		街並が汚い	32	64
27. 空気がきれい		空気が汚い	空気がきれい		空気が汚い	33	65
28. 家がせまい		家が広い	家がせまい		家が広い	34	66
29. 孤独な人が 多い		孤独な人が 少ない	孤独な人が 多い		孤独な人が 少ない	35	67
30. 自然が美しい		自然が美しく ない	自然が美しい		自然が美しく ない	36	68
31. 気候がよい		気候が厳しい	気候がよい		気候が厳しい	37	69
32. 食べ物 がおいしい		食べ物 がまずい	食べ物 がおいしい		食べ物 がまずい	38	70



Q 2. 仕事をする場所としては、ここがいいですか。

1. 大都市	2. ここ	3. わからない
--------	-------	----------

71

Q 3. 住む場所としては、ここがいいですか、大都市がいいですか。

1. 大都市	2. ここ	3. わからない
--------	-------	----------

72

Q 4. 長く住むかどうかは別として、一度は、大都市に住んでみたいですか。

1. はい	2. いいえ	3. わからない
-------	--------	----------

73

Q 5. ここは住みよい所だと思いますか。

1. はい	2. いいえ	3. わからない
-------	--------	----------

74

Q 6. あなたは、東京や大阪などの大都市に、憧（あこが）れをかんじますか。  
あてはまる番号を、□の中にかいて下さい。

1. とても、憧（あこが）れをかんじる。
2. ある程度、憧（あこが）れをかんじる。
3. あまり、憧（あこが）れをかんじない。
4. ぜんぜん、憧（あこが）れをかんじない。

--

75

SQ 1 (Q 6で、1, 2と書いた人が答えて下さい。)

大都市のどんな点に、憧（あこが）れをかんじるのですか。憧（あこが）れをかんじる点について、いくつでもいいですから、単語や短い文章で表して下さい。

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. _____  | 2. _____  | 3. _____  |
| 4. _____  | 5. _____  | 6. _____  |
| 7. _____  | 8. _____  | 9. _____  |
| 10. _____ | 11. _____ | 12. _____ |
| 13. _____ | 14. _____ | 15. _____ |

Q 7. あなたは東京や大阪などの地理や街の様子などに、くわしいですか。あてはまる番号を□の中にかいてください。

1. とてもよく知っている。
2. まあまあ知っている。
3. あまり知らない。
4. ぜんぜん知らない。

76

Q 8. あなたは大都市の地理や街頭の様子などについて、もっと知りたいですか。あてはまる番号を□のなかにかいてください。

1. もっと知りたい。
2. もう少し知りたい。
3. 今ぐらい知っていればよい。
4. ぜんぜん知りたいと思わない。

77

Q 9. あなたは自分の住んでいる町の地理にくわしいですか。あてはまる番号を□の中にかいてください。

1. すみからすみまで知っている。
2. まあまあ知っている。
3. あまり知らない。
4. ぜんぜん知らない。

78

Q10. あなたは自分の町の地理や住んでいる人について、もっと知りたいですか。あてはまる番号を□の中にかいてください。

1. もっと知りたい。
2. もう少し知りたい。
3. 今ぐらい知っていればよい。
4. ぜんぜん知りたいと思わない。

79

Q11. あなたはこの町のしきたり、習慣などをどう思いますか。あなたの気持ちに近いものをひとつだけ選んで□の中に番号をいれてください。

1. 無用な習慣である。やめた方がよい。
2. 時代に応じて新しいやりかたをした方がよい。
3. どうでもよい。
4. 悪いことがなければ、いつまでも守りたい。
5. 昔からの習慣はいつまでも守るべきだ。

80



《あなたご自身のことや、あなたのお考えなどについて、うかがいます。》

Q14. 次のことがらに、あなたはあてはまりますか。あてはまるか、あてはまらないかを、はい、いいえのどちらかに○印をつけて、教えてください。

1. できるだけ友人を多くつくりたい。	1. はい	2. いいえ	22
2. 一人であるより、人と一緒に楽しい。	1. はい	2. いいえ	23
3. 親しみやすい人だといわれたい。	1. はい	2. いいえ	24
4. 一度ことわられても、またきそう。	1. はい	2. いいえ	25
5. 暖かい感じのひとは、特に好きだ。	1. はい	2. いいえ	26
6. 自分を本当に理解してくれる人はいない と思うことが多い。	1. はい	2. いいえ	27
7. 他人に頼らず自分ひとりで生きるべきだ。	1. はい	2. いいえ	28

Q15. 次のくらしかたで、自分にぴったりだと思うものを、ひとつだけ選んで番号を□の中に書いてください。

1. 一生懸命はたらき金持ちになること。
2. まじめに勉強して名をあげること。
3. 金や名声を考えずに、自分の趣味にあった暮らしかたをする。
4. 世の中の正しくないことを押しのけて、どこまでも清く正しく暮らすこと。
5. 毎日をのんきに、くよくよしないで暮らすこと。
6. 自分のことは考えずに、社会のためにつくす。

29

Q16. あなたは、今の生活に、どの程度満足（まんぞく）していますか。次の中から、あてはまるものを一つ選んで、お答えください。

1. 非常に満足している。
2. かなり満足している。
3. あまり満足していない。
4. 全く満足していない。

30

Q17. あなたは、「人間が幸せになる」ために、どんな条件が必要だと思いますか。つぎのAからFの、一つ一つについて、どの程度必要かをお答え下さい。

	ぜひ必要だ	まあ必要だ	あまり必要 ではない	まったく必 要ではない	
A 高い収入があること	1	2	3	4	31
B 豊かな趣味をもつこと	1	2	3	4	32
C やりがいのある仕事をもつこと	1	2	3	4	33
D 信仰心をもつこと	1	2	3	4	34
E 家族が仲よく暮らすこと	1	2	3	4	35
F いい友人がいること	1	2	3	4	36

Q18. あなたは、日ごろ、次のようなことをしていますか。次のA～Cのそれぞれについて、どの程度なのか、一つづつ答えてください。

A お盆（ぼん）や、お彼岸 （ひがん）の墓参り	1. よくある	2. することがある	3. しない	41
	お守りやおふだをもらう	1. よくある	2. することがある	3. しない
C おみくじをひく	1. よくある	2. することがある	3. しない	43

Q19. 次の中で、あなたが、「確かに存在する」と思うものは、どれでしょう。いくつでも、あげてください。

ア 死後の靈魂	44
イ 虫の知らせなど、超自然的な能力	45
ウ UFO	46
エ 神	47
オ 仏	48
カ この中にはない	49

Q20. 次にあげた、それぞれの考え方についてどう思いますか。あなたは、「そう思う」か「そうは思わないか」のどちらですか。A～Eの一つ一つについてお答え下さい。

	そう思う	そう思わない	どちらとも いえない	
A 神や仏に願いごとをすると、何となくかなえてくれそうな気がする	1	2	3	50
B 神でも仏でも、心のよりどころになるものがほしい	1	2	3	51
C 人には知られなくても、悪いことをすれば、いつか必ずむくいがあるものだ	1	2	3	52
D 人間には、自分の力ではどうすることもできない、運命というものがある	1	2	3	53
E 祖先（そせん）の人たちとは、深い心のつながりを、感じる	1	2	3	54

Q21. あなたはこの町以外で、下の所に住んだことがありますか。あてはまるところに○印をつけてください。(○印はいくつでもよい。)

1. この町だけ	7. 大阪・神戸	55	61
2. 札幌	8. 広島	56	62
3. 仙台	9. 福岡・博多	57	63
4. 東京付近	10. 長崎	58	64
5. 名古屋付近	11. その他 ( )		
6. 京都		60	66

Q22. あなたはこの町以外で、下の所に行ったことがありますか。あてはまるところに○印をつけてください。(○印はいくつでもよい。)

1. この町だけ	7. 大阪・神戸	67	73
2. 札幌	8. 広島	68	74
3. 仙台	9. 福岡・博多	69	75
4. 東京付近	10. 長崎	70	76
5. 名古屋付近	11. その他 ( )		
6. 京都		72	78

Q23. あなたは、いま、何才ですか。

--	--

才

79~80

1	2		3	4	5	6	3

Q24. 今、家であなたといっしょに住んでいるのは、どなたですか。次の中からあてはまる人に、○印をつけてください。

- |      |          |                          |
|------|----------|--------------------------|
| 1. 父 | 5. 弟     | 9. おじ、おば                 |
| 2. 母 | 6. 妹     | 10. その他                  |
| 3. 兄 | 7. おじいさん | (                      ) |
| 4. 姉 | 8. おばあさん |                          |

7~16

ご協力ありがとうございました。もう一度最初のページにもどって、記入モレや書き忘れがないかどうか見直して下さい。